

平成23年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ダイズ害虫（No. 3）（ハスモンヨトウ、ダイズ腐敗粒、ほか）

平成23年9月13日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

9月13日現在、フェロモントラップへのハスモンヨトウの誘殺数が平年に比べてやや多いので、引き続き白変葉及び幼虫の発生状況に注意して下さい。また、台風12号による浸冠水や倒伏により、腐敗粒の発生等が懸念されるので発生状況に注意し、適切な防除に努めて下さい。

2 発生状況

【ハスモンヨトウ】

- (1) 中西部では、台風12号による大雨、浸冠水等により、ほ場での幼虫発生は平年より少ない。また、新たな白変葉の発生も少ない。
しかし、東部では、若～老齢幼虫が発生しており、平坦部の一部では要防除水準を超えているほ場が散見される。
- (2) フェロモントラップ調査の結果、8月第1半旬～9月第2半旬までの成虫総誘殺数は、平年よりやや多い（表1）。また、誘殺ピークは9月第2半旬頃と推察される。

表1 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫誘殺数の推移

月・半旬	鳥取市橋本		湯梨浜町		鳥取市河原町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
8・1	41.3	27.2	230.4	153.4	73.0	55.1
8・2	36.7	34.9	311.9	174.3	76.0	75.3
8・3	22.5	37.2	442.2	198.2	83.0	103.1
8・4	42.9	30.0	650.0	201.4	143.0	85.3
8・5	41.6	34.5	700.6	223.6	193.0	113.8
8・6	25.9	36.9	730.7	363.2	160.6	144.6
9・1	61.0	38.2	723.6	343.1	133.0	126.0
9・2	60.0	45.0	1280.2	526.9	200.0	245.5
計	331.8	283.9	5069.4	2184.0	1061.6	948.6

注)鳥取市橋本は乾式トラップ、その他はファネルトラップを使用。

鳥取市橋本、湯梨浜町の平年値は過去10年間の平均値。

鳥取市河原町の平年値は過去8年間の平均値。

【ダイズ腐敗粒、葉腐病】

- (1) 台風12号による浸冠水や倒伏により、腐敗粒及び葉腐病の発生が懸念される。
腐敗粒は、害虫の食害痕や台風による莢の傷から腐敗菌が侵入し、成熟期の降雨と高温が発生を助長する。
葉腐病は葉が土壌と接触することにより発生する。病原菌はイネ紋枯病菌と同一であることから、前年度にイネ紋枯病の発生したほ場では注意が必要である。

3 防除上注意すべき事項

(1) ハスモンヨトウ

- (ア) 現在、発生が少ないほ場においても、9月第5半旬以降に白変葉が急増する恐れがあるので、ほ場の発生状況には十分注意する。
- (イ) 防除の目安は、新たに発生した白変か所数が、1 a 当たり3～5か所以上である。

(ウ) 若齢幼虫に対する登録農薬の効果は高いが、齢期が進むと防除効果が低下するため、散布適期を失しないようにする。なお、中齢～老齢幼虫が混在する場合は、ロムダン粉剤DL、ミミックジョーカー粉剤DL、ラービフロアブル、マトリックフロアブル、フェニックス顆粒水和剤、プレバソフロアブル5等を散布すると、比較的効果が高い。

(2) ダイズ腐敗粒

(ア) 腐敗粒の発生を軽減するためには、殺菌剤散布による菌増殖抑制とカメムシ類等の害虫防除を行った上で、適期収穫と収穫後の速やかな乾燥が重要である。

殺菌剤散布：子実肥大期にベルコートフロアブル（1000倍、150～300L/10a）を散布する。

(イ) カメムシ類等の害虫防除は県防除指針等を参考にして行う。